

# 委員会報告

2019～2020年度

第 3 回

No.1

委員会名

アラート委員会

委員長名

L 野村 起成

開催日時	2019年 11月 21日 木曜日 15時 45分 ～ 17時30分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
出席者	欠	伊賀地区ガバナー	欠	進藤第1副地区ガバナー	欠	中井第2副地区ガバナー
	○	L 野村 起成 委員長		L 市村 一敏副委員長	○	L 北岡 知子副委員長
	欠	L 酒井 徹 副委員長	○	L 伊藤 晶美委員	○	L 廣瀬 譲 委員
	欠	L 伊藤 亮一 委員	○	L 木下 榮弘委員	○	L 浅田 均 委員
	○	L 委員	○	L 常盤 聡 委員	欠	L 中原 弘之委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
	○	会員会則委員会・委員長 知野秀L				
	○	キャビネット副幹事 柴田光太郎L				
次 第	司会・進行 L 北岡 知子					
	1	委員長挨拶、司会・議事録担当指名				
	2	前回委員会議事録確認				
	3	活動報告(OSEALフォーラムアラートセミナー:委員長、第二回キャビネット会議、例会訪問報告:L北岡)				
	4	審 議 (各チーム企画・進捗状況説明・セミナー開催希望日程等意見交換)				
	5	今後の活動計画について(アラート活動-炊き出し・支援物資の希望や提案)				
	6	キャビネットより(柴田副幹事)				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	次回委員会開催確認(後半の委員会スケジュール)				
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
次回開催日時	2019年12月16日月曜日 15時 45分 ～ 17時30分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
				作成者	L 伊藤 晶美	

議 題	審議経過事項の概要
1	(野村委員長より)アラートの求められている役割を共通認識として持つことが必要。330Aが支援災害対策に関する意識の低さの原因は東京に近年大災害が起こっていないこと、だからこそ有事の際にどう動くかシミュレーションしていくことが必要。チームとして一丸となって取り組もう
2	前回議事録に目を通すとともに、前回宿題事項について触れた
3	<p>＜OSEALフォーラムアラートセミナー＞(野村L)</p> <p>参加申し込みが殺到、全国的に関心が集まっていることがうかがえた。緊急時にアラート活動をスムーズに行えるような仕組みづくりの必要性を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急災害時拠出金(理事会承認を活動後に得る条件で)緊急支援活動にすぐ使える拠出金</li> <li>・後方支援をすぐに行えるよう、ボランティアセンター設置される地元の社協との関係を日常で作っておくこと</li> <li>・OSEALアラートセミナー資料を要約した『アラートの考え方』を委員長から配布予定</li> </ul> <p>330A災害掲示板作成について、目的と使用範囲を述べ、ITコミュニケーション委員会との連携について構想を説明、また、クラブ用災害対策マニュアル作成について、目的を説明。企画中の研修会2種についても、進捗を述べ、拍手をいただきました。</p> <p>＜例会訪問＞(野村L、北岡L)</p> <p>アラート委員会活動に関してお話を聞きたいという要望があった2クラブに対し、例会訪問実施。主旨を理解頂き、今後アラート活動に応援いただくとのこと。今後もアラート委員会活動に理解と協力をお願いできるよう、可能な範囲で例会訪問していく予定。</p>
4	<p>＜Facebookでの災害掲示板運用＞(北岡L、伊藤L)</p> <p>ITコミュニケーション委員会と相談しながら進行している。概ね理解を得られている状況であるが、HPリニューアル準備中ということもあり、将来的にはHPで統一する可能性もあります。また管理の方法や支援クラブがいなかった場合にどうするか、支援物資を余らせない(無駄にしない)ためにどうするか等の意見が交わされた。まずは、やってみること。運用してみて考えてはということとなった。次回キャビネット会議で正式承認されれば運用できる状態。</p> <p>＜アラート対応マニュアル＞(北岡L)</p> <p>被災したときどうしたらいいのか?のクラブ用マニュアル。前回の委員会のときに仮案を配布し、今回の委員会で意見などがあれば申し上げるということになっていた。意見は出ず、承認を得た。</p> <p>関連事項として、アラート委員かそれに該当するポジションの人を各クラブに設置して災害発生時に主導的立場ですぐに動けるように・またクラブ毎に緊急災害活動費の予算計上して、使わない場合は次年度に積み立てておくなどの災害隊際準備金の予算計上等提案していきたい。災害経験地区のライオンズクラブの参考例として提案された。</p> <p>＜備えよ常に＞(浅田L)</p> <p>前回委員会より公向けにリニューアルしたものを配布。自助を行うための常備物品リスト。考え方の基本は災害時でも『食・清潔』を確保するためのもの。現金項目を追加し、作成中の各クラブ向け災害対応マニュアルに添付することとなった。また、酒井Lのソーラーパネルなどのセットも記載したほうがよいのではという意見があり、チームで打ち合わせることとなった。</p> <p>＜救急救命士講習会＞(芝田L)</p> <p>昨年資料を用い、このような形で行う旨、合意を得た。しかし『救急救命士』だと人が集まりにくいということで、実用的かつ重要なAEDにフォーカスし『AED講習会』という名の講習会にすることとなった。場所は都内数カ所にて、12月中旬に告知し、3月下旬頃の実行を目指す(日時は消防署から指定)。参加者募集規模は募集に無理のない程度でよい、と決めた。チームで詳細内容を決めて正式な企画書を担当チームから委員会に提出することとなった。</p> <p>＜自衛隊勉強会＞(酒井L代理で北岡Lより)</p> <p>1月には開催可能。企画・告知もすぐできる状態。最終報告は12月の委員会できるとなった。</p>
5	被災地の炊き出しに関し、衛生法上の問題で、キャンピングカーはOKだがテントはNGという事もある。キッチンカーを持っている業者さんでボランティアしたいという人もいる。いざという時に出してもらえるような関係づくりも必要。(野村L、廣瀬L)
6	来週26日の幹事団の会議でAEDのキャビネット事務局への導入を検討して下さることとなりました。(柴田副幹事)
補足	<p>第3回12/16、第4回1/17、第5回2/19 いずれもキャビネット事務局にて開催予定。</p> <p>(第4回開催予定日は、キャビネット会議のため再度日程調整必要)</p>